

骨と関節の病気 症状や治療解説

岡山で講演会

骨と関節の日(8日)
を前に、運動器が衰えて起立や歩行といった

形外科勤務医会など共催)が4日、岡山市北区奉還町の岡山国際交流センターであり、約200人が症状の進行抑制や予防について理解を深めた。

症状や治療について解いと指摘し、「20、30代にカルシウムなどの栄養素をバランス良く食事で摂取すること」に痛みが出たらまず受診。その上で、頑張り過ぎない「ややきついぐらいのトレーニングを毅之助教による講演しよう」と呼び掛けた。

同大整形外科の古松

機能が低下する「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」についての講演会(県整

崎敏文教授が、変形性膝関節症や変形性脊椎症といった同症候群の骨粗しょう症については閉経後の女性に多い。実技もあった。

岡山大整形外科の尾

(水嶋佑香)